

# 一般質問…ここが論点

## 12月定例会

12月定例会中、1日、2日、3日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも3月上旬です。

大向正義（未来の会）

指定管理者制度の導入を

**問** 市の公共施設の管理運営を、法改正により新たに創設された指定管理者制度を導入して、民間業者に開放する考えはないか。

**答** この制度は、以前の管理委託制度と違って契約の相手方として特段の制約を設けず、公的団体に限らず民間業者も議会の議決を得て指定管理者になれる。指定管理者の選定については、管理内容の精査、相手方の調査等を行ないながら、民間業者の参入について



でも検討していく。

同制度は、多様化するニーズに対応し、民間活力を導入し経費節減等を図るためのもので、直営事業もこの機会に検討していく。

その他の質問  
1 構造改革特区

小林武男（市政クラブ）

今後の行政改革について

**問** 今後の行政改革の進め方を伺う。

**答** 民間八人による行政改革管理委員会は、引き続き市の行政改革の進捗状況を把握し、時には助言をさせていただく。また、市では昨年度から事務事業評価システムを導入して、事務の廃止、縮減を含め、事務事業の見直しを進めている。

ラグーナに計画されている中高一貫校とは

**問** 学校の概要、開校までの予定を伺う。

**答** トヨタ自動車、中部電力、J R東海の三社の設立による中高一貫校。全寮制で各学年百二十人の定員で、平成十八年四月の開校を目指している。市としても必要な手続き等できるだけ協力していきたい。

伊藤勝美（公明党）

学校給食の残菜減量に向けて

**問** 残菜の量とその減量対策を伺う。

**答** 残菜量は、平均約九％で年間食材費約二千万円が廃棄されていることになる。

対策として一センターで残菜が二百キ以上出た献立は実施しないと、金銭教育の中で捨てられる残菜を金額換算して、残菜に対する意識を高めている。

「図上訓練D-I-G」の手法の導入を

**問** 自主防災組織及び災害対策本部の運営訓練として災害対応トレーニング

プログラムD-I-Gの手法を導入してはどうか。

**答** 同手法が、効果的な訓練と認識するので今後の訓練等に取り入れていくよう検討したい。

藤田勝司（市政クラブ）

二学期制導入について

**問** 二学期制の長所、短所は何か。また、全国的な実施状況はどうか。

**答** 教育改革の課題に適切に対応でき、教育の質の向上が図られる。一方進路指導などに課題はあるが十分対策を練っておりきちんと対応できる。全国的には実施はまだ少ないが、導入検討の動きは大きくなってきている。

